

## ＜ 企業と環境問題に関する年表 ＞

ここでは、企業に関連する環境問題を、年表を通して見ていきましょう。

	年	日本国内に関する出来事	世界に関する出来事
近代 から 現代 へ	18世紀		イギリスで産業革命 その後スモッグによる死者出る
	1868 (明治元) 年	明治新政府樹立	
	1883 (明治16) 年	足尾銅山 (栃木県) 鉍毒事件 渡良瀬川流域に被害発生 東京でセメント粉じん被害・大阪で 工場ばい煙被害発生	
	1895 (明治28) 年		イギリスでナショナルトラスト 運動始まる。
	1901 (明治34) 年	官営八幡製鉄所 (福岡県) 操業 (富国強兵の時代へ)	
	1910 (明治43) 年 頃	神通川 (富山県) でイタイイタイ病 (カドミウム公害) 発生	
	1914 (大正3) 年		第一次世界大戦 (～1918年)
	1930 (昭和5) 年		ベルギーで大気汚染 (亜硫酸ガス) により死者60名
1939 (昭和14) 年		第二次世界大戦 (～1945年)	
現代	1945 (昭和20) 年	世界初の原子爆弾を広島・長崎に投下 (以降「原爆病」発生) 第二次世界大戦終結・日本の敗戦	
	1950 (昭和25) 年	朝鮮戦争爆发 (戦争特需による日本経済の急速な回復のはじまり)	
	1952 (昭和27) 年		イギリスで大気汚染 (亜硫酸ガス) により死者4000名

	年	日本国内に関する出来事	世界に関する出来事
現代の公害の時代	1955 (昭和 30) 年	森永砒素入りミルク事件発生	
	1956 (昭和 31) 年	熊本県水俣市で有機水銀による 「(熊本) 水俣病」公式確認 経済白書「もはや戦後ではない」 高度経済成長期に入る	ソ連 (現ロシア) で世界最初の 実用的原子力発電所操業開始
	1957 (昭和 32) 年		睡眠薬サリドマイドによる薬害 サリドマイド児問題発覚
	1958 (昭和 33) 年		サハラ砂漠 (スーダン) が南へ 90~100km 南下確認 (砂漠化が進展)
	1961 (昭和 36) 年	四日市市 (三重県) で工場排煙に よるぜん息患者多発	
	1962 (昭和 37) 年	アメリカの核爆発実験により、日本の第5福竜丸が「死の灰」を浴びる 東京でスモッグ被害	ロンドンで工場ばい煙被害
	1963 (昭和 38) 年	北九州市 (福岡県) でP C B中毒	
	1965 (昭和 40) 年	新潟県阿賀野川流域で有機水銀に よる「新潟 (第二) 水俣病」確認	スウェーデンでP C Bによる被害
	1966 (昭和 41) 年	日本初の原子力発電 (茨城県東海村)  営業運転開始	
	1967 (昭和 42) 年	新潟水俣病・四日市ぜん息訴訟 公害対策基本法公布	
1968 (昭和 43) 年	P C Bによるカネミ油症事件発生 イタイイタイ病訴訟 大気汚染防止法・騒音規制法公布	国連ではじめて環境問題討議	
1969 (昭和 44) 年	熊本水俣病訴訟	オランダで殺虫剤によるライン川	

		東京都公害防止条例制定	汚染深刻化
年		日本国内に関する出来事	世界に関する出来事
現代	1970 (昭和 45) 年	「公害国会」 公害罪法など 14 法案成立 東京・千葉で光化学スモッグ被害	
	1971 (昭和 46) 年	環境庁 (現環境省) 発足 イタイイタイ病・新潟水俣病訴訟で 原告 (被害者) 勝訴判決	
現代	1972 (昭和 47) 年	四日市ぜん息訴訟で 原告 (被害者) 勝訴判決	国連人間環境会議 (UNEP) 設立 酸性雨についての報告 ローマクラブ「成長の限界」発表 地球環境の危機を 4 要因から分析
	1973 (昭和 48) 年	第 4 次中東戦争による石油ショック 熊本水俣病訴訟で 原告 (被害者) 勝訴判決	ワシントン条約 (絶滅の恐れある野生動植物の 国際取引に関する取り決め)
新たな環境問題	1974 (昭和 49) 年	原子力船「むつ」放射能漏れ事故	
	1975 (昭和 50) 年	福井県美浜原発放射能漏れ事故 東京で六価クロム汚染問題発覚	
	1977 (昭和 52) 年	琵琶湖で赤潮発生 カネミ油症訴訟 原告 (被害者) 勝訴判決	アメリカでダイオキシン汚染発覚
	1979 (昭和 54) 年		スリーマイル島 (アメリカ) 原発事故 世界気候会議 (WMO) 温室効果による地球温暖化警告
	1980 (昭和 55) 年	日本・韓国合弁企業による韓国での六価クロム公害発生→「公害の輸出」 第二次石油ショック	アメリカの企業がオゾン層破壊原因

		のフロン代替品発表	
	年	日本国内に関する出来事	世界に関する出来事
現代 新たな 環境 問題	1982 (昭和 57) 年	日本でも異常気象 ・長崎県で記録的豪雨 東北地方で自動車のスパイクタイヤ の粉じん被害問題化	世界各地で異常気象 ・オーストラリア・アメリカで大干ばつ ・南米南部で異常降雨 国連環境会議で環境の国際汚染警告 南極昭和基地でオゾンホール観測
	1985 (昭和 60) 年	ゴミ焼却によるダイオキシン 発生を確認	ノルウエーで酸性雨被害深刻化
	1986 (昭和 61) 年		ソ連チェルノブイリ原発事故 スイスで化学工場火災により水銀・ 殺虫剤などがライン川を汚染
	1987 (昭和 62) 年	フロンガス半減を目指すオゾン層保護条約議定書に日本も調印	
	1989 (平成元) 年	オランダで地球温暖化に対する初の国際会議 「大気汚染および気候変動に関する閣僚会議」開催	
	1990 (平成 2) 年		湾岸戦争勃発 イラク軍による原油の海洋汚染
	1991 (平成 3) 年	福井県美浜原発事故 (その後も原発等の事故続く) 法律によりスパイクタイヤの 使用が禁止される	
	1992 (平成 4) 年	ブラジル・リオデジャネイロで「地球サミット」開催 行動計画として「アジェンダ 21」採択	
	1993 (平成 5) 年	環境基本法公布・施行 地球環境問題への対応	
	1995 (平成 7) 年	阪神・淡路大震災 容器包装リサイクル法公布	

	年	日本国内に関する出来事	世界に関する出来事
現代 新たな 環境 問題	1996 (平成 8) 年	1992年採択の「アジェンダ21」をフォローするための 環境マネジメントシステム規格「ISO14000シリーズ」制定	
	1997 (平成 9) 年	地球温暖化防止京都会議 (COP3) 開催・京都議定書採択 環境アセスメント法公布	
	1998 (平成 10) 年	大阪・兵庫・神奈川でごみ焼却に よるダイオキシン汚染問題化 地球温暖化対策推進法公布 家電リサイクル法公布 (実施は 2001 (平成 13) 年 4 月から)	
	1999 (平成 11) 年	ダイオキシン類対策特別措置法公布	
	2000 (平成 12) 年	環境省発足	
	2001 (平成 13) 年	グリーン購入法・建設リサイクル法 公布  PRTR法	

